

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社ジャノメ 上場取引所 東  
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 真  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画本部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,653	△27.0	△180	—	△119	—	△138	—
2023年3月期第1四半期	10,477	0.4	543	△28.6	842	7.3	559	12.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,042百万円(△34.5%) 2023年3月期第1四半期 1,590百万円(189.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△7.14	—
2023年3月期第1四半期	28.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	52,608	33,888	63.1
2023年3月期	51,118	33,364	63.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 33,172百万円 2023年3月期 32,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.7	2,500	17.9	2,500	4.1	1,500	—	77.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	19,521,444株	2023年3月期	19,521,444株
2024年3月期1Q	190,230株	2023年3月期	190,154株
2024年3月期1Q	19,331,271株	2023年3月期1Q	19,331,377株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、世界的な金融引き締め政策と物価高騰により、経済は依然低迷が続いています。国内においては新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、経済の正常化が進み景気回復の傾向が見られましたが、物価上昇が家計を圧迫する状態が続きました。

このような中、当社グループにおきましては、市場動向を注視しながら、受注状況の急激な増減に対応できるように生産体制の強化に取り組んでまいりました。事業環境としては、引き続き部品不足や重要市場における設備投資意欲の減退、ロシア向けの出荷停止状態が継続していることもあり、ある程度想定はされていたものの、全体としては依然として厳しい状況となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は7,653百万円（前年同期比2,824百万円減）、営業損失は180百万円（前年同期は543百万円の営業利益）、経常損失は119百万円（前年同期は842百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は138百万円（前年同期は559百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

#### <家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、高付加価値製品を中心に販売に注力しましたが、北米市場では、家庭用ミシンの販売拡大には至らず、欧州や豪州等を含む各市場につきましても期待していた成果には届きませんでした。

国内では、ミシンやソーイング文化の楽しさを伝えるパイロットショップ「Bobinage 神戸元町」のオープンや展示会への出展、ワークショップの開催などを通じ、積極的な需要喚起に取り組んだものの、物価高が家計の購買力を下押ししていることも背景とし、低調な動きとなりました。

この結果、家庭用機器事業全体の売上高は5,549百万円（前年同期比2,855百万円減）、営業損失は276百万円（前年同期は563百万円の営業利益）となりました。

#### <産業機器事業>

産業機器事業におきましては、部品の長納期化や原材料の高騰による製造コストの上昇が生産への影響を受ける中、中国における設備投資に対する動きは緩慢な状態も続いています。一方、他地域では設備投資の拡大もあり、全体としては底堅く推移しました。また、ダイカスト鑄造関連事業は、取引先での生産調整の影響を受け、売上げは伸び悩みました。

この結果、産業機器事業全体の売上高は1,441百万円（前年同期比71百万円減）、営業損失は14百万円（前年同期は76百万円の営業損失）となりました。

#### <IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業では、企業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みが加速しているなか、主力のソフト開発事業において、顧客ニーズに的確に対応したシステムの設計・開発を進める一方、品質管理の徹底による生産性の維持向上を図り、顧客に満足いただけるサービス提供に努めました。

この結果、売上高は610百万円（前年同期比103百万円増）、営業利益は79百万円（前年同期比26百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は52,608百万円(前連結会計年度末比1,489百万円増)となりました。

資産の部では、流動資産が商品及び製品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により26,820百万円(前連結会計年度末比1,109百万円増)となりました。固定資産は投資有価証券の増加、繰延税金資産の減少等により25,787百万円(前連結会計年度末比379百万円増)となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の増加、支払手形及び買掛金の増加等により10,808百万円(前連結会計年度末比998百万円増)となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により7,910百万円(前連結会計年度末比34百万円減)となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の増加、利益剰余金の減少等により33,888百万円(前連結会計年度末比524百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました2024年3月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,336	7,127
受取手形及び売掛金	6,571	6,007
商品及び製品	6,482	7,675
仕掛品	834	976
原材料及び貯蔵品	3,933	4,263
その他	849	1,098
貸倒引当金	△296	△328
流動資産合計	25,710	26,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,977	5,000
土地	12,921	12,887
その他（純額）	2,703	2,772
有形固定資産合計	20,602	20,661
無形固定資産		
その他	644	632
無形固定資産合計	644	632
投資その他の資産	4,160	4,493
固定資産合計	25,407	25,787
資産合計	51,118	52,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,836	2,360
短期借入金	3,984	4,639
未払法人税等	136	37
賞与引当金	567	317
その他	3,285	3,454
流動負債合計	9,809	10,808
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,107	3,107
退職給付に係る負債	3,836	3,805
その他	1,001	998
固定負債合計	7,944	7,910
負債合計	17,754	18,719
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	0	0
利益剰余金	12,156	11,535
自己株式	△325	△325
株主資本合計	23,204	22,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136	183
土地再評価差額金	6,977	6,977
為替換算調整勘定	2,159	3,290
退職給付に係る調整累計額	139	138
その他の包括利益累計額合計	9,412	10,589
非支配株主持分	747	716
純資産合計	33,364	33,888
負債純資産合計	51,118	52,608

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	10,477	7,653
売上原価	6,352	4,809
売上総利益	4,124	2,843
販売費及び一般管理費	3,581	3,024
営業利益又は営業損失(△)	543	△180
営業外収益		
受取利息	0	6
受取配当金	60	54
為替差益	229	113
その他	43	38
営業外収益合計	334	212
営業外費用		
支払利息	20	21
事業再編費用	—	114
その他	15	15
営業外費用合計	35	150
経常利益又は経常損失(△)	842	△119
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除売却損	5	18
特別損失合計	5	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	836	△134
法人税、住民税及び事業税	244	△9
法人税等調整額	63	21
法人税等合計	307	12
四半期純利益又は四半期純損失(△)	528	△146
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	559	△138



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	528	△146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	46
為替換算調整勘定	1,061	1,143
退職給付に係る調整額	6	△0
その他の包括利益合計	1,061	1,188
四半期包括利益	1,590	1,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,578	1,038
非支配株主に係る四半期包括利益	12	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
日本	1,228	1,057	507	2,792	—	2,792
北米	3,146	88	—	3,235	—	3,235
欧州	1,334	69	—	1,403	—	1,403
その他	2,695	298	—	2,994	—	2,994
顧客との契約から生じる収益	8,405	1,513	507	10,425	—	10,425
その他の収益	—	—	—	—	51	51
外部顧客への売上高	8,405	1,513	507	10,425	51	10,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	166	115	281	23	304
計	8,405	1,679	622	10,707	75	10,782
セグメント利益又は損失(△)	563	△76	52	539	1	541

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	539
「その他」の区分の利益	1
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	543

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
日本	826	904	610	2,341	—	2,341
北米	1,707	58	—	1,766	—	1,766
欧州	1,810	153	—	1,963	—	1,963
その他	1,204	325	—	1,529	—	1,529
顧客との契約から生じる収益	5,549	1,441	610	7,601	—	7,601
その他の収益	—	—	—	—	52	52
外部顧客への売上高	5,549	1,441	610	7,601	52	7,653
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	151	122	273	23	297
計	5,549	1,592	732	7,875	75	7,950
セグメント利益又は損失(△)	△276	△14	79	△211	28	△182

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△211
「その他」の区分の利益	28
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△180

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年8月9日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元水準の向上ならびに資本効率の改善を図るためであります。

2. 取得に係る事項の内容

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類  | 普通株式   |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 1,000,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 5.17%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 700百万円(上限)                                       |
| (4) 取得期間       | 2023年8月10日～2024年3月31日                            |